

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月29日 19:00~21:00

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 齊藤・濱崎・高橋・古村・東・鳶田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		6人	2人		8人

前回の改善計画
介護度の高い利用者さんが多くなってきた為、新しい利用者さんが来られてもつい手のかかる利用者の方を優先してしまう傾向がある。その点は皆が共通認識を持ったことで、今後意識の改善をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用開始前から利用の初期の段階まで、密に連携を取ることが出来るようになった。(なにか問題がある場合は自然と対応について話が出来るようになった) スタッフ全体が自然と情報を収集出来るようになってきた。そういった気軽に相談し合える雰囲気が出来ている。業務中に空き時間を作ることで、その時間を情報収集やミーティングなどにも活用できるようにした。収集した情報は初回の関わりのときに参考出来るようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	5	1		8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		6	2		8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	6	1		8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		6	2		8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①気づいた点はスタッフからケアマネに確認したりすることが出来るようになった。
③常々心がけているが、言葉使いを特に意識するようになった。その結果、新しい利用者さんが自分自身の事を色々話してくれるようになった。訪問の時は特に元気を意識するようになった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④できていない介護者の不安が全て把握出来ていない。②本人が今何をしたいか解らない時がある。④送迎に行かないと家族に会う事がない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
今回は初期の支援において利用開始前から実際に利用するまでの間、個々で情報を仕入れる意識が身に着いて来た事を実感している職員が多かった。今後もミーティングの時間やちょっとした時間を活用して情報を入手できる時間を確保していきたい。また、得た情報を見えるような仕組み作っていく(ケアプランに反映したり、紙に書いて利用者さんの注意点や情報、急な対応について対応方法などを書き上げたりする等…)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月29日 19:00～21:00

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 齊藤・濱崎・高橋・古村・東・畠田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	4人	人	8人

前回の改善計画	実践した内容を振り返ることが苦手な職員が多く課題と感じた。ケアプランの見直しやケアプランに目を通す機会を増やす。具体的には、ケアプランの評価は今まではケアマネージャーが行っていたが、実際に関わる機会の多い職員にも評価をしてもらうようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の意向を確認する手段として、ケアプランを活用するのは常勤の職員に浸透しているが、パート職員はケアプランがそもそも何か?という意見もあり新たな課題として上がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	5		8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2	6		8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	4		8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	3		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
③ははっきり本人が意向を示す、かかわりに関しては出来るように努力している。ミーティングなどで業務の整理を行い、本人の意向を実現する為の話合いが出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①認知症の方の生活の継続に焦点が当たりすぎている為、本人の細かい「～したい」というニーズの汲み取りが弱くなった部分もあった。ケアプランが頭に入ってこない④ライフサポートプランの見方がわからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員の人数が多く常勤の職員とパート職員で勉強する機会や制度の仕組みその他文書 (ケアプランなど) の見方などがまだまだ出来ていない。その為、利用者の意向が伝わっている職員や伝わっていない職員などバラつきを減らしていく。(パート職員だけの勉強会など)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月29日 19:00~21:00

3. 日常生活の支援

メンバー 斉藤・濱崎・高橋・古村・東・畠田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	1人	人	8人

前回の改善計画

利用者の必要な支援をアセスメントし、サービスを提供するまでの過程が現場のスタッフに見えるようにマネジメントを行う。なぜこの人はケアプランにそのサービスが入っているのかはっきりイメージできるようにマネジメントを行う。(ライフサポートワークの使用)

前回の改善計画に対する取組み結果

ライフサポートワークを使用した。まだ使い方に戸惑いが見られる。ただ、プランどおりにサービスを提供するだけでなく、利用者の体調や状況の変化に応じた対応を皆で話し合いすぐに対応することが出来るようになった。その為、一人暮らしの支援は特に柔軟に対応出来るようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	4	2	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	2	3		8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	2	1	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	5	1		8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	6		1	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ②本人の出来る部分、出来ていない部分を理解し、出来ている部分はなるべく自分で出来るように援助している。
- ④ライフサポートワークの見方が解らない(パート職員)

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①認知症の方の生活の継続に焦点があわさりすぎている「～したい」という所の意識が薄い

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

今回の話し合いで介護技術を皆で復習する機会を設けるとよいという話になった。定期的に利用者さんの介助の練習が出来る機会を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月29日 19:00~21:00

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 斉藤・濱崎・高橋・古村・東・畠田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	1人	8人

前回の改善計画
地域とのつながりが切れないような支援はできている。その為、今後も地域での暮らしが継続できるように支援を続ける。

前回の改善計画に対する取組み結果
民生委員や近所の関わりが深い人と連携している。国見地区は職員の親戚が、民生委員だったり知り合いだったりということもあり、自然と連携が取れている。一方で地区外の方は訪問の回数や主な地域ではない為特に、民生委員や福祉委員その他の関係者とも積極的に連携を取るようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	1		8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	1	1	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	2	1	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	4	1	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②国見地区の利用者はこれまでの生活スタイル等を理解しており人間関係や縁故の関係まで把握できている。今まで行っていた地域イベント等にも参加出来るように調整している。小規模を利用したからといって地域との繋がりがたたれないように援助している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①地区外の方との連携が不十分な所がある。
④車に乗っていないと訪問に行くことが少なく、地域での様子自宅での様子がわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
今後も地区外の方とも関係作りを進めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年11月29日 19:00～21:00
------------------	-----	-------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	斉藤・濱崎・高橋・古村・東・畠田
----------------	------	------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	5人	0人	1人	8人

前回の改善計画	訪問サービスをより本人のニーズに合わせて提供する。配食のみの訪問にならないように毎日の関わりの中で生活の変化を敏感にとらえ、より柔軟なサービスを提供していく。
---------	---

前回の改善計画に対する取組み結果	短時間の訪問（内服援助やゴミ出し等）からじっくり生活援助を行う訪問まで必要性に合わせて柔軟に対応した。また、「〇〇の訪問が必要になるかもしれない」など、今までの生活の中で支援が必要になる場面が予測できる場合に関しては事前にどのような援助を行うか等を決めておき実際に場面に出くわしたらその時点で援助が出来るように話をするなど柔軟に対応出来るように決め事を作った。
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		2	5	1	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	5		1	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？		7		1	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？		6	1	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②どの、サービスも偏らずに満遍なく提供できている。③休み明け等に記録を遡って確認している。記録を読んで、気になった項目に関してはその時出くわした職員に更に詳細に確認するなどしている。④その日その時の本人の状態に合わせて通いを休みにしたり、通いが休みの日に通いにしたり対応している。また、食事の提供も本人の嗜好にあわせて、事業所内で食事を作っているという利点を生かしこまめに対応している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④働き始めたばかりの為、地域の資源等が理解できていないイメージが出来ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員が増えたり減ったり、利用者さんが増えたり減ったりしても同じように柔軟に対応できるように続けていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月30日 19:00~21:00

6. 連携・協働

メンバー 齊藤・濱崎・高橋・古村・東・畷田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1人	2人	5人	8人

前回の改善計画	事業所外の活動や、他事業所の職員との関わりを持てる機会を作る。月に一回程度、小規模多機能の連絡協議会や交流会に参加が出来る機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	人数を絞って何人かの職員には、事業所間の集まりや勉強会などに参加してもらった。また、そういった参加の機会を提供する中で、職員発で事業所間の交流会が企画されたりした。同地区内の事業所同士で交流を深めることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		1	2	5	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1	2	5	8
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		3	2	3	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	5	1	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①時間を設定した会議はしていないが、必要な時に情報の共有する場はその都度設けている。 ③地域のゴミステーションの掃除に参加したり積極的に地域の活動に参加した。③地区内に住んでいる為、町内の行事に参加できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①担当者会議をスタッフが参加することはしていない。ケアマネと管理者は兼務しておりさらに現場にも入っている為、人員もギリギリでやっていることもあり話し合いにもう一人参加することが難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今回の取り組みの中で、他の事業所間で横の繋がりが出来た。具体的なアクションはできていないが、具体的に地域の課題を解決できるような場が出来ると良い。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月30日 19:00～21:00

7. 運営

メンバー 齊藤・濱崎・高橋・古村・東・畠田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	5人	1人	1人	人

前回の改善計画

今後も、地域の方と関わるイベントを継続していきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域との関わりのイベントでは、地域の喫茶店が出張喫茶をしてくれたり、地域のクラゲの卸の店と交流を行った。（ボランティアで貴重なクラゲを見せてくれたり、職員が手品をしてくれた等）様々な業種の地域のお店とも交流が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	1	2	3	2	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	5	1	1	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	1	3	3	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	3	2	2	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

④悪天候だった時に緊急の避難場所として地域から問い合わせがあった場合も受け入れ出来るように柔軟に対応した。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①意見を言う場合も言うスタッフが偏る。いえない人もおり自分で消化してしまう。
④運営自体に意見を言ったりするのは気が引ける。特に働き始めて期間があまり経っていないとそんな事を言ってもいいのかという気持ちになる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

今までは、地域の方が出向いてくれる事が多かった。反面、こちらから地域に出向く事は少なかった。地域外に出てシルバー喫茶のお手伝いをしたり中学校や小学校で介護の普及活動などが出来ると良い。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月30日 19:00~21:00

8. 質を向上するための取組み

メンバー 斉藤・濱崎・高橋・古村・東・畠田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	4人	2人	2人	8人

前回の改善計画	面接を通して、自分が受けた研修や興味のある分野を学習できる機会の確保に努める。また、事業所側からも各職員に各々こうなって欲しいと言う目標を設定しそれに応じた研修を受けてもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修の受講は予定通り行うことが出来た。その中で受けた研修を事業所内で研修内容を反映させたかったが、うまく時間がとれなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		4	2	2	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		4	1	3	8
③	地域連絡会に参加していますか	1		2	5	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		1	5	2	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
④気づいたことはヒヤリハットなどであげてなるべく共有出来るようにした。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④同じ事故が多かった。ひやりはつの数が少なく自分自身の気づきが少なかったのでは?	
①研修に行きたい気持ちがあるが、パートの為その時間が難しかったりするのでなかなか研修に行くことができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○受けた研修を事業所に反映出来るようなしくみを作る。全員が集まれる時間に設定する。(今までの研修報告の時間がパート職員が出席できる時間では無かった。)	
○今年は同じ事故の重複が多かった(何度も同じ事故が起きている) 同じ事故が起きた時点で該当の職員と話し合いの場を設け再度事故防止の為の対応を話ししていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月30日 19:00~21:00

9. 人権・プライバシー

メンバー 斉藤・濱崎・高橋・古村・東・畷田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	3人	2人	8人

前回の改善計画	前回の虐待に関する知識をしっかりと持つという計画は踏襲し、毎年虐待の研修を継続して受け続けることが出来るよう機会を設ける
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待の研修を今年も開催出来た。受けれなかった職員は資料等にて見てもらっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	2			8
②	虐待は行われていない	4	4			8
③	プライバシーが守られている	1	6	1		8
④	必要な方に成年後見制度を活用している		3	3	2	8
⑤	適正な個人情報の管理ができています	1	6	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①身体拘束に該当する方はいない②言葉の虐待にならないように、慎重に言葉を選んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②虐待についてもっと知りたい(パート職員)⑤個人のカルテを人の目が着く所に置いてしまうときがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今回も何が虐待にあたるか解らないといった意見が上がった。研修自体は開催しているがパート職員だと時間の都合で研修を一部パート職員が受ける事が困難な事が多かった。その為、参加可能な時間が被るパート職員だけを集めて研修や会議(必須)を設けパート職員も学習できる機会を設ける。	

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5名		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	5名		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	4名		1名
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5名		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

全員で取組みが出来ている様子が見受けられた。今後もしっかり事業所のサービスの質の維持、向上に励んで欲しい。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

①の取組みがしっかり出来ていることが伝わってきた。

②ミーティングはその日に職員を増員するなどミーティングに集中できるような環境を作った。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

アセスメントに始まりプランに基づいてサービスを提供する…という基本的な介護サービスの流れを職員が意識し定着させることが引き続き課題である。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

自分たちの評価をすることに対して遠慮が見られる。自分たちの意見を出すということになれる必要がある。課題は明確ではあるが、それが浸透するまでには時間がかかる事が解った。

【改善計画】※後日記入

介護サービスの流れを理解し、その流れに沿ってサービスを提供しているという意識が弱く。それが、感覚で実践している原因になっている。その為、ケアプランの（ライフサポートワーク）作成等を行ってもらいプランに基づいてサービスを実施するという意識の定着を図る。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5名		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5名		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4名		1名
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5名		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5名		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

施設内の環境、清潔等整っていると話を頂いた。ただ、利用者さんの食べた跡の残飯が落ちている事が少し目立つようになって来た。

【前回の改善計画】

良い評価を頂いたので、今後も現在の建物の清潔状態を維持し、過ごしやすい空間作りを継続していく

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

まきストーブの柵にエプロンを掛けたりするのは見た目的に良くないように感じるとの意見があった。

【今回の改善計画】※後日記入

普段はあまり意識しないちょっとしたこと（エプロンをかける場所など）にも注意していく。生活空間であることを忘れず快適な空間作り・清潔の維持に努めたい。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5名		
1	職員はあいさつできていますか？	5名		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4名		1名
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5名		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4名		1名

【上記5つのチェック項目に関する意見】

元気にあいさつしてくれている。職員一人ひとりの名前がわからないときがある。近くに住んでいるから、ひびきの家の職員というのはわかるが名札等身元のわかるものがあった方がいいかもしれない。

【前回の改善計画】

地域との関わりも密に出来ていると評価を頂いたので、今後も地域との繋がりを更に密にしていく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

職員のあいさつが出来ているかどうかの項目の話のときに、名札が無いことが話題に上がった。普段は名札やユニホームなどを使用していないが、イベントがある際に職員であることがわかるように名札を使用したほうが良いのでは？という意見があった。

【改善計画】※後日記入

日々の活動中にひびきの家の職員と認知してもらえるような工夫をする。(訪問中の名札の着用等)

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5名		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4名		1名
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3名	1名	1名
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4名	1名	
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2名		3名

【上記5つのチェック項目に関する意見】

シルバー喫茶に参加したり、可能な方は少しでも地域での活動に参加できるように工夫をしていた。④の項目でわからないという回答が多かった。

【前回の改善計画】

介護サービスという枠にとらわれず、今後も配食サービスや実費での入浴サービス等で地域の心配な方との関わりを続けていく。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

利用者の、今まで行ってきた地域での活動はなるべく続けられるように援助をしている。あくまで、利用者の今までの生活をベースにサービスを組んでいる。地域内のひびきの家を使っていない方でも、日々の状況を把握している。担当のケアマネから状況の確認をされれば地域の一員として情報提供等を行っている。また、配食や自費のサービスなどをニーズがあれば提供し、関わりを断たないようにしている。

【改善計画】※後日記入

今後も地域での生活で心配事がある利用者さんに対しては、登録者でなくても関わりを続けていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4名		1名
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5名		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4名		1名
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5名		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5名		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

レジメや写真、わかりやすく資料も作成されている。積極的に防災等運進で議題に上がっている。広報誌は運営推進会議の話し合いから始まったこと。積極的に改善しており今後も継続していくとよい。地域の方の心配な方の事例の検討等も行っている。

【前回の改善計画】

今後も更に地域の方との関係が深まるように運営推進委員会の開催を継続していく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

老人会のメンバーの方々と運進のメンバーの方々と事業所や地域に出向くイベント等どのようなことを行っていくか話し合いが出来ると良いという話があった。特に、地域のイベントや行事に出ない一人暮らしの人は多数存在している様子があったので、そういった方に対して少しでも外に出るきっかけを作れると良いのではという話があった。

【改善計画】※後日記入

運進だけでなく地域で活動している方々とも連携しながら、地域と事業所をつなぐ催し物を行っていく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5名		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	5名		
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	4名		1名
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1名	4名	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5名		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

今年、台風があったときに地域の方から避難が出来ないか問い合わせがあった。ある程度、地域からは何かあったときに頼られているというのが実感できた。また、雪のひどい時も避難所として利用できるかの照会があり、実際に避難所となったときに対応出来るかどうかもう一度確認していく必要があるのではないか。

【前回の改善計画】

運営推進会議にも地域の方がいらっしゃるので、委員の方にも防災訓練の参加をしていただき、災害対策の面でも地域との連携をより密にしていく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

今年は実際に災害に近い大雪に見舞われたりし、避難所の開設が出来るかどうかというところまで話がいった。その時に実際に対応出来るかどうかや備えがしっかりしているかも際確認が必要ではないか？という話があった。

【改善計画】※後日記入

災害時に避難所として機能できるように、実際の備えや職員の心の準備も含めて対応出来るようにしていく。避難訓練だけでなく事業所にどういった物品があるか等、定期的に話が出る。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 国見慈光会	代表者	出見敏枝	法人・ 事業所 の特徴	福井市の国見地区は人口1100人程度、高齢化率は41%と小さい地域で、高齢者の割合が非常に多い地域である。当法人は、その国見地区を中心に川西圏域を利用対象範囲にしているが、登録利用者の7割は国見地区の利用者である。その他も越廼地区と鷹巣地区の利用者で占めており、地域との結びつきが非常に強い事業所である。その為、利用者さん同士古くからの知り合いである事も多く、サロンのような雰囲気に近い。また、風光明媚な場所に立地しており、豊かな自然の中で、四季を感じながら、家族的な温かさを大切にしている。四季を通じて、外出し自然を楽しめるようにしている。玄関や入り口に鍵をかけず、自由に施設内を移動できるようにしている。食事は冷凍食品などをほとんど使用せず、旬のものを取り入れ、手作りしている。その為、細かいニーズに柔軟に対応出来る事が強みである。なじみの地域で認知症や障害を持って、その人らしい生活が継続出来るよう職員全員が取り組んでいる。
事業所名	ひびきの家	管理者	斉藤浩二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
----	---------	-------------------	----	---------

A. 事業所自己評価の確認	ケアプランを職員に作成してもらいプランに基づいたサービスを提供しているということを意識できる。	①の取り組みがしっかり出来ていることが伝わってきた。 ②ミーティングはその日に職員を増員するなどミーティングに集中できるような環境を作った。	アセスメントに始まりプランに基づいてサービスを提供する…という基本的な介護サービスの流れを職員が意識し定着させることが引き続き課題である。	介護サービスの流れを理解し、その流れに沿ってサービスを提供しているという意識が弱く。それが、感覚で実践している原因になっている。その為、ケアプランの（ライフサポートワーク）作成等を行ってもらい、プランに基づいてサービスを実施するという意識の定着を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	良い評価を頂いたので、今後も現在の建物の清潔状態を維持し、過ごしやすい空間作りを継続していく。	心地よい空間作りの継続に勤め、維持できた。	まきストープの柵にエプロンを掛けたりするのを見た目的に良くないように感じるとの意見があった。	普段はあまり意識しないちょっとしたこと（エプロンをかける場所など）にも注意していく。生活空間であることを忘れず快適な空間作り・清潔の維持に努めたい。
C. 事業所と地域のかかわり	地域との行事に職員と一緒に参加することを検討し、出来そうなものがあれば参加し地域との関わりをより密にしていく。	地域との関わりは密にしてきたが行事などへの参加はもう少し出来ないか課題である。	職員のあいさつが出来ているかどうかの項目の話のときに、名札が無いことが話題に上がった。普段は名札やユニホームなどを使用していないが、イベントがある際に職員であることがわかるように名札を使用したほうが良いのでは？という意見があった。	日々の活動中にひびきの家の職員と認知してもらえらるような工夫をする。（訪問中の名札の着用等）
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今までの関わりを継続しつつ、地域との行事に職員と一緒に参加することを検討し、出来そうなものがあれば参加し地域との関わりをより密にしていく。	入浴サービス等、地域での困り事に対してサービスの提供を行ってきた。	利用者の、今まで行ってきた地域での活動はなるべく続けられるように援助をしている。あくまで、利用者の今までの生活をベースにサービスを組んでいる。地域内のひびきの家を使っていない方でも、日々の状況を把握している。担当のケアマネから状況の確認をされれば地域の一員として情報提供等を行っている。また、配食や自費のサービスなどをニーズがあれば提供し、関わりを断たないようにしている。	今後も地域での生活で心配事がある利用者さんに対しては、登録者でなくても関わりを続けていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後も更に地域の方との関係が深まるように運営推進委員会の開催を継続して地域内での意見交換が活発に行えるようつとめる。定期的に広報誌の内容の精査を行って、より地域の方が知りたい情報を書けるようにしていく。	広報誌等は、高齢者施設ならではの情報をもっとあると良いのでは？という意見があった。	老人会のメンバーの方々と運進のメンバーの方々と事業所や地域に出向くイベント等でどのようなことを行っていか話し合いが出来ると良いという話があった。特に、地域のイベントや行事に出ない一人暮らしの人は多数存在している様子があったので、そういった方に対して少しでも外に出るきっかけを作れると良いのではという話があった。	運進だけでなく地域で活動している方々とも連携しながら、地域と事業所をつなぐ催し物を行っていく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>今後も地域の防災拠点としての周知行い受け入れが出来るよう、設備の充実を行う。</p>	<p>地域住民（婦人会のグループ）の方にも防災訓練に参加してもらい、災害時地域の方と連携が出来るように取り組みを行った。</p>	<p>今年は実際に災害に近い大雪に見舞われたりし、避難所の開設が出来るかどうかというところまで話がいった。その時に実際に対応出来るかどうかや備えがしっかりしているかも際確認が必要ではないか？という話があった。</p>	<p>災害時に避難所として機能できるように、実際の備えや職員の心の準備も含めて対応出来るようにしていく。避難訓練だけでなく事業所にどういった物品があるか等、定期的に話が出る。</p>
----------------------------	---	--	--	---

